

柏崎市立図書館の学校支援サービス

柏崎市立図書館
2017. 5月作成

1. 学校向けサービスのご紹介

図書館では、学校向けにさまざまなサービスをご用意しています。利用するメニューが決まりましたら、まずはお連絡ください。日程・内容等をご相談させていただきます。その後、正式な申請書をいただきます。なお、利用メニューによって申し込み期限や申請書が異なりますので、ご確認ください。

メニュー	内 容	お申込み方法
施設見学	40分程度の見学です。通常公開していない部分も含めて、1～3階を見学します。見学の最後に、質疑の時間を設けます。 - 授業の単元に関連する見学の場合、事前にお知らせください 例：「地域探検」「図書館の工夫」等 - 必要に応じ、荷物の置き場・休憩場所として、部屋を用意できます。事前にお申し出ください。 	実施日の2週間前まで 「図書館利用申込書」で申し込み
職場体験学習 (中学生向け)	- キャリア学習の支援として、職場体験を受入れています。カウンター業務、書架整理、資料整理・資料修理、選書、POP作成、読み聞かせなど様々なメニューがあります。 - 受け入れ期間は最大で3日間以内です。 - 他校との日程調整をさせていただくことがあります。また、他校と一緒にの日程になる場合もあります。 - 服装は学校指定体操着と運動靴、持ち物は、昼食・水筒・汗拭きタオル・筆記用具・あれば図書館利用カードをお願いします。 - 活動の様子を、図書館広報誌やホームページに掲載することがあります。ただし、個人が特定できるような情報は掲載しません。 	実施初日の3週間前まで 「図書館利用申込書」で申し込み
体験学習	- 児童生徒が、実際に図書館施設を利用する体験です。 - 図書を自分で借りる体験、読み聞かせ・ブックトークを聞くなどの体験ができます。 - 図書を自分で借りる体験には、当館の利用カードが必要です。 	利用の2週間前まで (ただし、ブックトーク・読み聞かせは1か月前まで) 「図書館利用申込書」で申し込み
調べ学習	- 学校で設定されたテーマについて、図書館の資料を使って学習します。例：平和、郷土柏崎について - 必要に応じ、学習会場として会議室等を用意します。 - 資料準備の都合上、申し込み時に調べるテーマをお知らせください。 - 郷土資料は冊数に限りがあります。グループごとの学習をお勧めします。 	利用の2週間前まで 「図書館利用申込書」で申し込み

お問い合わせ・お申込み先 柏崎市立図書館（ソフィアセンター）

電話：２２－２９２８、FAX：２１－２９３６、Ｅメール：lib@city.kashiwazaki.lg.jp

※申請様式は、市ホームページ中、図書館のサイト内「学校・団体向けのサービス」に掲載されています。ダウンロードしてお使いください。

メニュー	内 容	お申込み方法
職員派遣サービス	- 図書館職員が学校等に出向き、読み聞かせ、ブックトーク（テーマに沿った本の紹介）、ビブリオバトル（書評合戦）などをします。 - 貸し出した図書は、学校から返却をお願いします。 - 秋の読書旬間期間は、混み合いますので日程を調整させていただく場合があります。 	希望日の１か月前まで 「職員派遣申請書」で申し込み
団体貸出	- 授業等で必要な本を１校につき５０冊まで借りられます。授業単元の資料としてご活用いただけます。例：宮沢賢治 - 貸出冊数に限りがありますので、単元終了後すぐの返却をお願いします。 - 貸出に必要な学校用の利用カードは、図書館に用意してあります。 - 貸出・返却の運搬は学校でお願いします。（学校読書支援員は対応しません）	随時
貸出文庫	- 学校や児童クラブなどに５０冊程度の本を置き、各コースに合わせ、毎回入替をします。 - コースは「１カ月コース」「２カ月コース」の２つです。 - P T A会員の利用も可能です。 - ただし、新規の場合のみ次の書類をご提出ください。 「貸出文庫利用申込書」「貸出文庫利用者管理同意書」	年度当初に各学校へ希望を取り、お申込みいただきます。 （その後は、随時受け付けとなります）
移動図書館	- 図書館車に約１，０００冊の図書を積んで、各小学校へ貸出や返却業務に伺います。 - 当館の利用カードがあれば、児童だけでなく、学校関係者や保護者、地域の方もご利用いただけます。 - 毎年、児童によるカードの貸し借りや借りた本の又貸しが原因でトラブルがあります。貸出返却のマナーを守るようご指導ください。 	年度当初に各学校へ希望を取り、お申込みいただきます。
視聴覚機器・教材貸出	- 視聴覚機器、教材の貸出を行います。必ず事前にご連絡いただき、視聴覚機器・教材申込書にて予約をしていただきます。 - 貸出に必要な学校用の利用カードは、図書館に用意してあります。	事前連絡要 「視聴覚機器・教材申込書」で申込み
学校ボランティアの交流・研修	学校で活動するボランティア（読み聞かせ・修理等）の交流や研修の場を提供するイベントを随時開催しています。また、研修等希望がありましたら、個別にご相談ください。必要に応じて職員派遣申込書を提出していただきます。 	

2. 学校の読書活動支援

平成27年3月に策定しました柏崎市子ども読書活動推進計画（愛称：かしわざき子ども読書プラン）に基づき、学校の読書活動支援を行っています。

（1）学校読書支援員

学校読書支援員は、子どもの読書習慣づくり・読書環境整備を推進するために柏崎市内20の小学校を巡回し、図書室整備（図書登録、修理、書庫整理等）や図書紹介（読み聞かせ、ブックトーク等）などを行います。各校と相談・調整しながら、次のような支援を進めていく予定です。

- ・学校図書室の資料整備（選書、登録、配架、修理等）
- ・児童・生徒への図書紹介
- ・学校内でのブックトークや読み聞かせ
- ・学校図書委員会活動の支援

※なお、巡回支援のため、支援内容に限りがある場合があります。ご了承ください。

平成28年度 支援の様子



←書架の配置換え

ブックトークの様子 ↓



↑ 書架整理や除籍



↑ 配置換え後のオリエンテーション



←図書装備の講習会

(2) かしわざき子ども司書養成講座

図書委員を対象に、子ども司書（読書リーダー）養成講座開講しています。子ども司書とは「本に親しみながら、本の世界や知識を学び、読書の素晴らしさや大切さを友達や家族に伝える読書リーダー」です。現在、全国で子ども司書の輪が広がっています。柏崎市立図書館の取り組みは、図書委員を対象に実施するオリジナルの方式です。

(ア) 講座の目的

- 図書委員が本や学校図書館に興味を持ち、学校図書館で進んで活躍できる人材を育成する。
- 図書委員が子ども司書（読書リーダー）となり、児童が主体的に読書推進することができる。
- 「できる」という成功体験をすることで自信を得る。また、読書体験につながる方法を習得する。



(イ) 子ども司書とは

司書は「書を司る」と書くように、本と人を繋ぐ人です。子ども司書は、本のことや図書館の仕事を知り、読書は楽しいということを伝える役割を担います。

(ウ) いつやるの？だれが教えてくれるの？

図書委員会の時間に活動します。柏崎市立図書館の司書や専門員が、やさしく楽しく教えます。

(エ) どんなことをするの？

図書委員が、たくさん本に出会い、本に興味を持つ活動をしします。また、学校図書館で自分に何ができるかを考え、行動できるように司書の体験をしします。講座回数と体験メニューは学校と相談の上、決定します。閉講式には認定証を授与します。

H28年度の実施例1（柏崎小）

- 第1回 開講式・司書のお仕事を知る
- 第2回 本を選ぶ（選書）・本の住所を知ろう（分類）本だなに並べる（配架）
- 第3回 調べてみよう（レファレンス）
- 第4回 本の修理
- 第5回 読み聞かせしよう
- 第6回 POPを作ろう・ビブリオ体験
- 第7回 ビブリオバトルに挑戦・閉講式



H28年度の実施例2（北鯖石小）

- 第1回 開講式・司書のお仕事を知る、本を選ぶ（選書）・本の住所を知ろう（分類）・本だなに並べる（配架）
- 第2回 読み聞かせをしよう
- 第3回 調べてみよう（レファレンス）
- 第4回 本の修理
- 第5回 POPを作ろう・閉講式



(オ) 子ども司書養成講座の流れ

子ども司書養成講座の大まかな流れは以下のとおりです。

子ども司書養成講座実施の相談（実施小学校・図書館）

- ・子ども司書養成講座の概要説明
- ・実施日時と講座メニューの決定
- ・保護者への文書・同意書等の確認

など



図書委員へ子ども司書養成講座実施の説明

- ・保護者へ開講と写真掲載についての文書配布
（事前に写真掲載確認票を回収します）



開講式・オリエンテーション



子ども司書養成講座の実施

- ・各メニューのレジュメに従い進めます
- ・座学だけでなく、学校図書館の中で図書委員が実際に活動します
- ・一人1冊ファイルを用意します。毎回のレジュメや、活動記録・感想等を綴り、記入します



閉講式・子ども司書認定証授与

- ・記念撮影をし、後日お渡しします
- ・ファイルを一度回収し、図書委員の活動を記録します（記録後お返しします）



(カ) 活動報告

- ・年に数回「かしわざき子ども司書養成講座」を図書館が発行（不定期）、配布します。
- ・市ホームページ内、新聞、FMピッカラ等で活動の様子を掲載することがあります。（掲載許可については、講座開始前に保護者より確認票を提出いただきます。）
- ・子ども司書制度を進める「うちどく推進プロジェクト・子ども司書推進プロジェクト」へ活動を報告します。